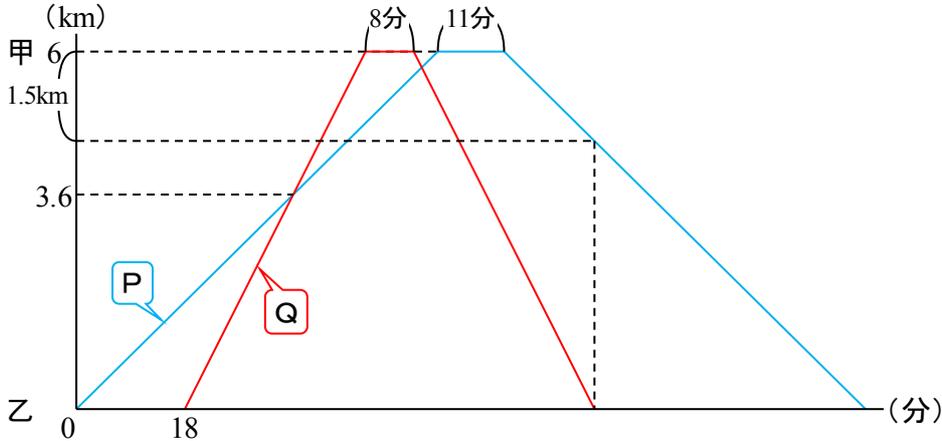




グラフを書きます。

〈グラフ1〉



Qが乙地に着いてからPが乙地に着くまでの時間は

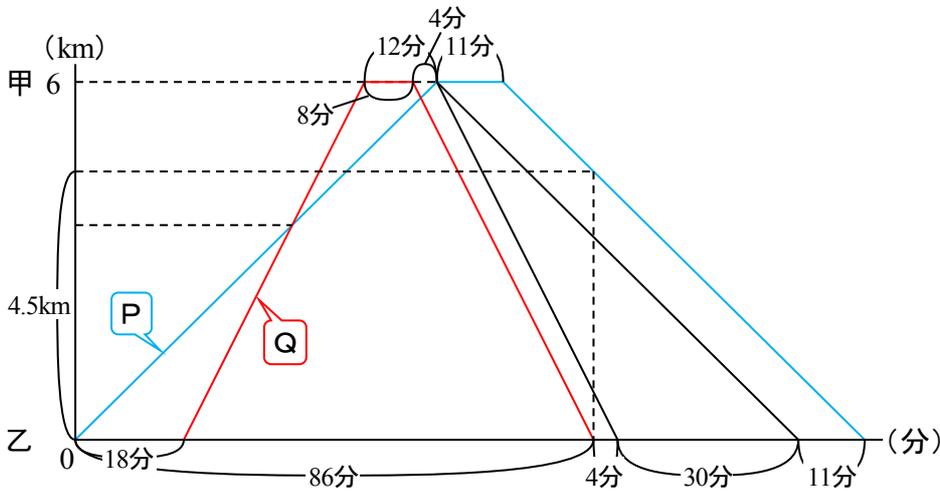
$$18 \times \frac{6-3.6}{3.6} = 12 \text{ (分)}$$

です。よって、甲乙間片道でかかる時間の差は

$$18 + 12 = 30 \text{ (分)}$$

です。それを踏まえ、Pが乙地に着くと同時にPとQが甲地に向かう様子をグラフに加えます。

〈グラフ2〉



〈グラフ2〉より、Pは4.5kmを45分で進むことがわかります。

- ・P → 6kmを60分で進む
- ・Q → 6kmを30分で進む

(1) Pが3.6kmを進むのにかかる時間を求めればよいので、

$$60 \times \frac{3}{5} = 36 \text{ (分後)} \quad \dots \text{ (答)}$$

(2) 〈グラフ2〉中の砂時計型の相似に着目して、

$$60 \times \frac{86}{90} = 57 \frac{1}{3} \text{ (分)} = 57 \text{ (分)} 20 \text{ (秒)} \quad \dots \text{ (答)}$$